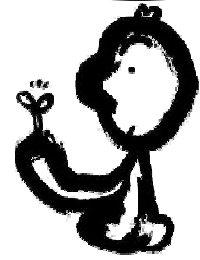


NEWS



特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ

〒651-0095 神戸市中央区旭通 1-1-1-203(サンピア 2F)

TEL 078-230-9774 FAX 078-230-9786

e-mail kikin@stylebuilt.co.jp URL <http://www.stylebuilt.co.jp/kikin/>

地域社会への慈しみや愛 +

- しみん基金 KOBÉ 審査員のひとりごと

6月に訪日が予定されているチベット仏教最高指導者ダライ・ラマ 14世は、日本で自殺者が多いことに対して、「現代社会は人間への慈しみや愛が欠けている」と、毎日新聞の会見で説いたという。

一方、わたしはしみん基金・KOBÉの審査員を久しく仰せつかっているが、毎回の公開審査を終えて帰路に着くとき、「地域社会ではまだまだ他を思いやる心と、快適な暮らし(環境)を育てていこうという意欲があふれとう」と、やさしい気持ちに充たされる。

しみん基金・KOBÉに活動助成金を申請する団体の活動内容は時の流れとともにちよつとづつ変化している。阪神大震災からしばらくは被災弱者をサポートする活動が主であったが、近年は高齢者・しょうがいのある人、こどもなど社会的弱者といわれる人たちへのサポート活動に加えて、自然環境の保全や再生、生活を豊かにする文化活動や多世代交流コミュニティの復活など、地域で居心地よく安心して住み続けられるための活動などもある。

審査員には、応募申請団体が提出した活動内容、組織状況、事業計画などの書類に加えて、しみん基金・KOBÉの理事さんたちが応募団体のひとつひとつの現場に出向きヒアリング調査をして整理された資料が送られてくる。審査員は公開審査会までにその分厚いファイルに目を通し熟考して審査会に臨むので、公開の場で〇記をつける推選団体の目途は大方つけている。審査会当日の各団体のプレゼンテーションの「うまい」「ちよつとうまいなあ」に大きく左右されることはない。が、プレゼンテーションを受けながら、活動している人たちの喜び、生きがい、自然体を感じたとき、わたしは思う。

クローズした仲間たちだけの活動にしないで、周りの人たちへの情宣や参加への常々の声かけも、その組織の活動の一部に加えてほしいと。特別の人たちが活動しているのでなく、また活動している人たちのいきいきした姿と喜び・充実感を感じて、「わたしもなんかやってみたい」「わたしでもなんか役に立つことあるんちゃうやらか」と、引っ込み思案ながら日々思っている人たちが一歩踏み出す機会になれば、波及効果はさらに大きい。現代社会の大きな社会問題のひとつの課題解決の一策にもなりそう.....。

日本人は自ら一歩踏み出すのが不慣れな人が少なくない。先般、アイスランドの火山噴火で多くの人が空港に足止めされたというニュースの隅に「何かできることがあるんちゃうか」と空港に日参している地域住民も少なくないと記されていた。

石東・都市環境研究室主宰 / 石東 直子
(しみん基金・KOBÉ 審査員)

主な目次

- | | |
|---------------------------------|-----------------------------------|
| ◆ 設立 10 周年記念ファンドレイジング・パーティー報告 2 | ◆ こうべ・あいウォーク 2010 のご報告 ----- 6 |
| ◆ 平成 20 年度助成事業成果報告会 ---- 2~5 | ◆ コラム「市民社会を支えるお金の流れを考える」(7) --- 7 |
| ◆ 117 メモリアル・コンサートのご報告 ----- 6 | ◆ 15 年目のひとり言 & 会員数と寄付のご報告 - 8 |



特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ
 設立10周年記念ファンドレイジング・パーティーのご報告



2010 年 2 月 17 日、神戸ポートピアホテルにて「しみん基金・K O B E 設立 10 周年記念ファンドレイジング・パーティー」を開催いたしました。大勢の方々にお越し頂きまして、誠にありがとうございました。

このパーティーは、この 10 年間に「しみん基金・こうべ」を支えて頂いた皆様方への感謝の気持ちをお伝えし、これまでのあゆみや成果を振り返りつつこれから果たしていくべき役割についてご意見を頂く機会として設けました。

ソプラノ・飯田美奈子さん、ピアノ伴奏・辻本圭さんによるオペラ「ロミオとジュリエット」より『私は夢に生きたい』でのオープニングののち、ご来賓からのご祝辞とつづき、会食をいただきながら河内成夫トリオの JAZZ 演奏を楽しんでいただきました。その後、これまでの 10 年間のあゆみをスライドショーで上映し、助成先団体のご紹介とつづき、お開きとさせていただきます。



会場内で頂きました皆様方からの様々なご意見は、今後の活動の中で反映させて頂ければと思っています。私共としましても、その人らしい形での寄付という社会への関わりを通じて、社会を良くしていくことの喜びを実感できる「絆」を大切にしたい「新しい市民社会」の姿を具現化していくことを目指していきたいと考えています。今後ともより一層のご支援・ご協力をお願いします。



平成 2 0 年度助成事業成果報告会のご報告





2009 年 11 月 6 日 (金) 13:00 から、平成 20 年度助成事業 (助成対象期間: 平成 20 年 10 月 1 日 ~ 平成 21 年 9 月 30 日) の締めくくりとして、助成先団体による成果報告会を開催しました。これは、各団体の事業によって得られた社会的な成果を、寄付者や審査プロセスにご協力頂いた皆様へ発信する、民間による公益的活動を市民自らの力で支


えることの大切さを分かち合い、今後に向けて改善すべきポイントを導き出す、ということを狙いとしています。


各団体の事業による成果とメッセージの概要は以下のとおりです。当基金へご寄付を頂きました皆さまのおかげで、このような地域における暖かい活動の輪を広げることができましたことに、改めて心より感謝申し上げます。

助成先団体の事業成果 (概要) とメッセージ (抜粋) ~ ご寄付はこのように活用されました。


色たとんと 神戸ころころ	垂水区
< 事業名 > カラーセラピーを広めるために	少額枠
 <p>< 事業の成果 > 下絵から手作りのぬり絵・身近にある紙・色彩効果で元気の出る画材を使うカラーセラピーを高年齢者施設等で実施することを通じて、自分の思うままに表現することの楽しさを感じていただき、参加者の秘めてる力を引き出すことができました。</p>	
< メッセージ > 助成金で手持ちの材料や参考になる図書等を購入することができ、あまり知られていないカラーセラピーを胸を張って行うことができる喜びを感じています。カラーセラピーを通じて、年輩の方々の豊かな個性を引き出せるようになります。	

手話サークルたるみ	垂水区
< 事業名 > 社会参加支援事業	少額枠
 <p>< 事業の成果 > 助成金で購入したビデオカメラで撮影した画像を DVD にして、サークルでビデオライブラリーを設け、広くサークル会員の学習や聴覚障害者へ情報提供することで社会参加の支援をすることができ、サークル活動をより豊かなものにすることができました。</p>	
< メッセージ > ビデオカメラがあることにより、聴覚障害者がよりスムーズに情報を得ることができるようになり、また支援する側も繰り返し手話表現等を見ることを通じて、聞こえないことがどうかの理解が深まり、相互コミュニケーションの円滑化の助けになりました。	


フェアトレードひょうごネット	東灘区
<事業名> 秋のセミナー：映画「おいしいコーヒーの真実」から見えるもの	少額枠
	<事業の成果> 予想以上の入場者が得られ、コーヒーという商品を通じて、市民が日本にいてできる国際貢献の手段としてのフェアトレードを知っていただくことができました。
<メッセージ> コーヒーにとどまらず、現在のグローバリズムの世界において、日本人は享受者であると同時に、加害者でもあることを認識することができ、今後の日本のあるべき姿について考えるきっかけを作ることが出来ました。	

朗読ボランティアグループ おはなし KOBE	東灘区
<事業名> 小学校での学級単位の「お話会」活動	少額枠
	<事業の成果> 読書離れを言われる子どもたちに、小学校の授業時間に「お話会」をすることを通じて、絵本や児童文学、昔話などの楽しさ・豊かさを味わうことができ、学校図書の借り出し冊数の増加など読書習慣導入に一役を果たすことができました。また、読書教育の有効性が認められ、開催を希望する学校が増えました。
<メッセージ> 「お話会」活動を永年続ける中で、子どもたちが楽しみながら感性を磨き、想像力が育ち、集中力も身につくことに、現場の先生方から高い評価を頂いています。	

多文化交流フェスティバル実行委員会	中央区
<事業名> 多文化交流フェスティバル	少額枠
	<事業の成果> フェスティバルの開催を通じて、一般来場者が様々な国の料理や民俗芸能に触れ、また一緒に楽しむことができ、外国人コミュニティへの興味や国際交流のきっかけとなり、今後の多文化共生のまちづくりを進めるにあたっての一助としての役割を果たすことができました。
<メッセージ> 多くの外国人コミュニティが力を合わせ、地域の自治団体や学校などの協力と行政のバックアップのおかげで、多文化共生の豊かなまちづくりに役立ちたいという思いが、少しずつ実を結びつつあることを実感できました。	

(特活)COM 総合福祉研究所	中央区
<事業名> 子育てサポーター養成講座	少額枠
	<事業の成果> 地域コミュニティの人間関係の希薄化のために孤立しがちな子育て家族をサポートする連続子育て応援講座を開催することを通じて、子育てする社会環境と子どもの発達を学び、親同士の絆を深めることができました。
<メッセージ> 参加者アンケートでは満足度が高く、また開催してほしいという要望が高かった。子育て中の方同士が共感しあい、ふれあうことで安心感を与えることが出来たばかりでなく、新しいつながりをつくることができました。	

国際交流・国際協力支援団体 CLUB GEORDIE	三田市
<事業名> クッキングコミュニケーション～みんなでわくわくお菓子なお祭り～	少額枠
	<事業の成果> お菓子づくりを通して、国籍・年代は違っても、異文化を持った人たちと自分たちの考え方や価値観を共有し、異文化交流の大切さを感じてもらい、今後も異文化に対して積極的な姿勢をとってもらうことを促すことができました。
<メッセージ> 「食」ということにフォーカスして、一緒に「つくる」という作業を共有することで、コミュニケーションや異文化交流の楽しさを伝えることが出来ました。	


うたの街	須磨区
<事業名> うたの街	少額枠
	<事業の成果> 複数の高齢者施設を定期的に訪問し、毎回60名ほどの施設利用者に歌と寸劇をご披露することを通して、一緒に歌い昔を思い出していただき健康維持と幸福感を与えることができ、またそのことがボランティアする側の励みにもなっています。
<メッセージ> このたびは過分な助成金をあずかり誠に感謝にたえません。おかげさまで、ボランティアグループ「うたの街」も9年目を迎えることが出来ました。今後はボランティアメンバーの若返りが課題です。	


(特活)トータルサポートひょうご	東灘区
< 事業名 > 職場のいじめ被害撲滅に向けて～ 相談事業とシンポジウム開催	少額枠
<p>< 事業の成果 > 新聞記事に掲載して頂いたお陰で、月 2 回開催を計画していた無料相談会は、常に定員の相談者を迎え実施できました。また、シンポジウムは規模を縮小しての開催となりましたが、各方面からの理解を得ることができました。相談会とシンポジウムを通じて、職場の人間関係に悩む多くの人の声を聞き、すべてではないが解決への道筋を着けることができました。</p> <p>< メッセージ > 1人あたり1時間以内の相談でしたので、十分なアドバイスができたかわかりませんが、相談後にうまく解決できたとの声もあり、改めて民間として相談者の立場にたつてアドバイスすることの意義と今後継続していく必要性を認識いたしました。</p>	


ひょうご福祉ネットワーク	中央区
< 事業名 > 被災者、市民、福祉、生活、法律、税金、健康無料相談活動	一般枠
	<p>< 事業の成果 > 主に震災復興住宅等での月 1 回の巡回相談会・炊き出し配食サービスの実施を通じて、住民に対して福祉・法律・健康等の相談にのり、解決に向けての支援活動を行い、相談できる人のいない方々の命綱ともいべき役割を果たすことができました。</p> <p>< メッセージ > 昨今の不況を反映して相談の内容は複雑・多岐にわたり、複数の専門担当者で対応することが多くなっています。今後ともご支援をよろしくお願いします。</p>


NPO 法人尼崎障害者センター設立準備委員会	尼崎市 一般枠
< 事業名 > 尼崎市内障害者団体・作業所・障害者・家族への支援事業および尼崎障害者センター基金の創設と運営事業	
	<p>< 事業の成果 > NPO法人格を取得して、団体連携の為の連絡事務や作業所の実情を訪問調査し支援の道筋を探るなど、時間給職員を雇い、安定的に事業を始めることができました。急遽実施した市内3ヶ所の作業所火災への義捐金活動もスムーズに実施できました。</p> <p>< メッセージ > 義捐金活動実施のため少し遅れましたが、「尼崎障害者センター基金」について広く広報し、障害者支援事業の為の資金調達の成果をあげていくことが課題です。</p>

ひょうご市民後見研究会	東灘区
< 事業名 > 市民後見人による障害者・高齢者支援へのチャレンジ その実践と展望	少額枠
	<p>< 事業の成果 > 事例研究会などを通じて、成年後見制度を障害者・高齢者支援のための身近なツールとして市民の立場でどのように関わっていくかを学び、考えることができました。また、シンポジウムを通じて、成年後見制度の必要性を、一般市民に向けて発信することができました。</p> <p>< メッセージ > 今後も事例研究会等を通じて、各地の様子を情報収集し、ネットワークの構築と「市民後見人」ということばの社会的認知を高めていくようにしていきます。</p>


自立生活センターリングリング	兵庫区
< 事業名 > 障害者の権利を保障し差別を禁止するための人権啓蒙活動	一般枠
	<p>< 事業の成果 > 障害当事者のDPI(障害者インターナショナル日本会議)の研修会への参加や、地域社会への人権啓蒙活動を進めていくための講演会やワークショップの企画を通じて、障害者の人権問題を把握し、わかりやすく語る力量を身につけることができました。</p> <p>< メッセージ > 障害当事者が主体的に差別を無くす為の取組を進めていくことは、障害者を単に福祉サービスの問題として捉えるのではなく、地域の一員としての人権問題として捉えていく視点が大切だと理解できました。</p>

でいんぷる	兵庫区
< 事業名 > 学校間を越えた学生ボランティアネットワークの構築	一般枠
	<p>< 事業の成果 > 学校間の垣根を越えた学生たちがつどい、研修活動を経て、主体的にキャンプ企画をしたことで、ボランティア活動の魅力を知り、活動の輪を広げることができました。また、裏方作業の複雑さと大切さを経験することで、将来の職業観意識の醸成にも繋ぐことができました。</p> <p>< メッセージ > 人が集い意見を交わし、活動者同士が共感しあい、他者から評価されるという「ボランティア」活動に参加することの魅力や、学生たちにどのように伝えていくかが今後の課題です。</p>

(特活)ほっとぽっと	須磨区
<事業名> かんたんパソコン教室継続発展事業	一般枠
	<p><事業の成果> 障がい者自身が講師となり実施してきた「かんたんパソコン教室」を継続発展させるために、講師養成講座を開き講師を増やすことができました。また、「かんたんパソコン教室」を有料化することで、講師側にもよい緊張感を持つことができ、双方が学びあい、つながりを深めることができました。</p> <p><メッセージ> 受講者さんから「丁寧に教えてくれてありがとう」などと温かい言葉をかけて頂ける度に、私たちでも人に喜んでもらえることがあるんだ、と思えます。今後に向けて課題も多いですが、一歩ずつ進んでいけたらと思っています。</p>

(特活)HIV と人権・情報センター 関西支部	中央区
<事業名> 青少年向けエイズ教育のピア・エドゥケーター育成	一般枠
	<p><事業の成果> 研修や実習を通じて若いピア・エドゥケーターを育成することができ、彼らによる学校等での啓発活動を通じて、多くの同年代の青少年にエイズの基礎知識やHIV感染者との共生及び自他のいのちの大切さを伝えることができました。</p> <p><メッセージ> 感染拡大が続いているHIV/AIDS問題は、大人や政府・医療関係者だけでなく、若者自身がアクションをおこして、エイズを取り巻く社会問題や人権感覚を知り、「いのち」について考えることが大切であると、今回の育成事業を通じて改めて気付かされました。</p>

(特活)メリーポピンスの会	宝塚市
<事業名> ”ボランティアがボランティアを育てる” 園芸ボランティア養成塾	一般枠
	<p><事業の成果> 専門家による講習や経験を積んだ会員ボランティアによる実習、市内 2 箇所の本格的な花壇の立上げを通じて、多くの参加者・指導者双方が園芸ボランティアとしての経験を積むことができました。また、「園芸ボランティアフォーラム」では、会の経験を発信し、他の園芸グループや一般市民との交流を図ることができました。</p> <p><メッセージ> この塾は「ボランティアがボランティアを育てる」という理念のもと、多くの講座を開設し社会的ニーズにこたえようとしています。平成 20 年度には、本格的な花壇を市内 2 箇所に開設でき、施設利用者や一般市民の方々に癒しと憩いの場として大変喜ばれています。</p>

ひょうごん福祉ネット	須磨区
<事業名> 制度外の福祉を支える NPO のネットワーク作りと経営力強化事業	一般枠
	<p><事業の成果> 定期的な経営研究会(計 9 回)を持つことによって、団体間の情報交換ができ、各団体の経営改善に役立った。また、「地域福祉・担い手養成講座」(計 15 回)の開催を通じて、各団体主催の講座に参加して団体間の交流とネットワークづくりができました。</p> <p><メッセージ> 小さなNPOだけではできなかったことが、ネットワークを組んで活動することによって可能になり、各団体の運営改善にも役立てた。今後は、制度外福祉を支えるNPOサービスの実態調査を実施して、さらにその活動を社会にアピールしていきたい。</p>

なお、ひょうご市民後見研究会と NPO 法人尼崎障害者センター設立準備委員会は、この助成事業対象期間中に NPO 法人格を取得され、現在はそれぞれ (特活)市民後見ひょうご、(特活)尼崎障害者センターとして活動されています。

<リサイクル寄付のお問い合わせ & ご協力方法>

古着: オレンジスリフティ
 TEL 078-858-7090
 〒657-0027 神戸市灘区永手町 3-1-208
 オレンジスリフティ 六甲店

- ・ 上記ショップへ持参または宅配便にて送付してください。
- ・ 送付の際は、メモにて「しみん基金こうべ リサイクル寄付」とご記入の上、送料は送り主様にてご負担ください。
- ・ お洗濯やクリーニングなど、一般的な処置を済ませていただいた上で、あまりに汚れているものや消えないしみのついているものは除いてください。再販が可能なものと考えていただければ大丈夫です。

家電・音楽機器・パソコン等の電子機器:
 (株)こうべリサイクルセンター リサイクル寄付事業部
 TEL 078-303-6201
 〒650-0046 神戸市中央区港島中町 1-1-14

- ・ 上記お問い合わせ先へお電話下さい。「リサイクル寄付」とお伝えください。
- ・ お電話にて、商品がリサイクル品として再販可能かどうか確認させていただきます。
- ・ 再販可能と判断された場合は、上記のあて先まで宅配便にてご送付下さい。「リサイクル寄付」と明記ください。送料はご負担いただきますようお願いいたします。



～ぼたんの会 1.17メモリアル・コンサート～ 竹下景子さん “詩の朗読と音楽の夕べ”

ご報告

2010年1月17日(日)、今年も神戸新聞松方ホールにて、ぼたんの会実行委員会と復興支援コンサート実行委員会の共催で「1・17メモリアル・コンサート竹下景子さん”詩の朗読と音楽の夕べ”」を開催いたしました。

日ごろの体験の中から伝えたい未来への「夢と希望」「勇氣」「今、なすべきこと」をテーマにした詩を公募しましたところ、今年も全国各地から多数のご応募をお寄せいただきました。その中から厳選された7作品を、林晶彦さんのピアノ即興演奏とともに、竹下景子さんに心を込めて朗読していただきました。板橋文夫トリオのジャズ演奏もとてもダイナミックなもので、詩の朗読の産み出す静けさとのコントラストが心地よく感じられるひと時を過ごすことができました。

*

なお、ぼたんの会実行委員会としてこのコンサートに参画するのは、今回が最後となります。来年以降は、復興支援コンサート実行委員会の単独主催でコンサート自体は継続の予定です。この間、ご参会いただきました皆様方とこのコンサートの出演者及び運営にたずさわって頂きました関係者の方々に心より御礼申し上げます。



～詩の優秀作品入選者～ (プログラム順)

横山智香さん(東京都) 欠端千尋さん(岩手県)
松井寿美江さん(神戸市) こやまはつみさん(三重県)
中野優子さん(京都市) 米田実さん(西宮市)
大窪純子さん(神戸市)

「ぼたんの会」とは、文化を通じて新しい社会貢献(寄付の文化)のスタイル確立を目指して、地域の中で大切な役割を果たすように成長してきた NPO・NGO へのファンドレイジングを目的に15団体で結成された協働プロジェクトで、コンサートやパーティーなどを企画・開催し、その収益の一部を市民活動やボランティア活動を支える資金として活用するしくみです。当基金は、ぼたんの会実行委員会の事務局を担ってきました。



あい こうべ人ウォーク2010 ご報告

2010年1月10日(日)に「こうべ・あいウォーク2010」を開催しました。当日は、1月にしては珍しいくらいの快晴に恵まれ、JR鷹取駅近くの大国公園をスタート地点にして、約150人の参加者のみなさんと一緒に、ガイド役や地元の方々のお話を聴きながら4kmほどの道のりを歩きました。昨年秋に完成した「鉄人28号」モニュメントの前をとり、震災で被害が大きかった商店街の中を通り抜け、震災後にできた公園に立ち寄り、お昼ごろには無事にゴール地点の高速長田駅近くの「プラザ5」に到着して、あたたかい豚汁を一緒に頂きながら、震災からの15年の月日をみんなで振り返りました。

なお、当日スタート地点で募金(一口千円)を行ないましたが、当日の経費を差し引いた約8.7万円が当基金へ寄付され、次年度以降の助成事業に活用させていただきます。



主催: こうべ人ウォーク2010 実行委員会(神戸復興塾、(特活)神戸まちづくり研究所、まち・コミュニケーション、甲南女子大学、(特活)しみん基金・K O B E) 協力: 近畿労働金庫・地域共生推進室 後援: 神戸市



コラム・市民社会を支えるお金の流れを考える(7)

しみん基金・K O B E事務局長 江口 聡

前回のこのコラムでは、NPO/NGOと市民の間をつなぐ中間支援組織にまず求められていることは、ひとり一人が持っている「使命」=社会の中で果たすべき役割を、誰もが内面に秘めているのだということ気付かせて勇気付けることである、というお話をしました。今回号では、それをベースにして中間支援組織がさらに果たさなければいけない役割について考えてみたいと思います。

「つなぐ」ということ

私は、現代を生きている人々がそれぞれに帰属している組織社会に縛り付けられたまま、まだまだ個々の持っている本来の「使命」同士が十分に出会えていないのではないかと考えています。あるいは、もし出会っていても深い対話を通して相互に生かしあうことができずにやり過ごされているのではないかと、思っています。「企業」だとか「行政」だとか、知らず知らずのうちにそれぞれに無用な壁を築きあげてしまっているがゆえに、市民ひとり一人の社会的「使命」が持っている瑞々しい感性が十分に生かされていないのは、社会にとってもとても不幸なことではないでしょうか？いわゆる「協働」がなかなかうまく進まない原因もここにあるように思っています。

だからこそNPO/NGOと市民の間をつなぐ中間支援組織は、個々の「使命」が出会えるような機会や仕掛けを提供することがまずは大切な役割だと、私は考えます。最初は間接的に両者をつなぐ機会を提供し、相互に知り合い理解を深めた上で、最終的には直接相互につながっていくように促すことにその役割があると思います。

次に大切なことは多様性に関することです。NPO/NGOが社会の中でそれぞれに多様な社会的課題に取り組んでいるのと同様に、ひとり一人の持っている「使命」はそれぞれに異なっていて多様であるがゆえに、中間支援組織は両者をつなぐ多様なルートを用意する必要があります。ただし、その場合留意しなければいけないのは、ひとつのところですべてのルートをつくらうとする必要はないということです。なぜならば、それぞれの中間支援組織が持っている未来社会に実現したい価値に則って、各々がルートをつくっていき、それら相互に補完しあっていけば、自ずと社会全体の多様性というニーズが満たされていくだろうからです。

(つづく)

しみん基金・K O B E の活動報告(2009年12月～2010年3月)

【イベント・講演・研究会等】

- 12月1日 神戸市アドバイザー派遣事業・NPO法人心の集い
第3回訪問:活動見学、スタッフ・利用者ヒアリング
- 12月4日 第5回ファンドレイジング研究会@東京
主催:日本ファンドレイジング協会
- 12月7日 神戸市民円卓会議・全体会議
- 12月10日 第2回検証ビジョン検討委員会
- 12月13日 ひょうごボランティアスクエア 21
@神戸クリスタルタワー3F
- 12月20日 震災15周年記念プロ野球チャリティーマッチ
@神戸スカイマークスタジアム
- 1月10日 こうべ・ウォーク2010(P6掲載)
- 1月10日 シンポジウム「震災から15年 あの時を絆を次世代へ」パネル出演:黒田理事長
主催:神戸新聞社 @松方ホール
- 1月17日 1・17メモリアル・コンサート竹下景子さん詩の朗読
と音楽の夕べ @松方ホール (P6掲載)
- 1月18日 はぁ～とふるファンド申請受付開始
- 1月23日 神戸学院大学インターン実習指導者交流会
- 1月23日 KECアドバイザー派遣事業・合同研修会
- 1月25日 神戸市アドバイザー派遣事業・NPO法人心の集い
第4回訪問:車両助成等のアドバイス
- 1月27日 第3回検証ビジョン検討委員会
- 1月30日 KECアドバイザー派遣事業・合同研修会
- 2月6-7日 ファンドレイジング日本2010 @東京

- 主催:日本ファンドレイジング協会 参加:江口・村尾
- 2月9日 神戸市アドバイザー派遣事業・NPO運営ステップアップ連続講座「サブちゃんサロン」
- 2月11日 NPO塾 @神戸市勤労会館
- 2月14-15日 KECアドバイザー派遣事業・中間支援NPOスタッフ研修 @西宮・六甲保養荘
- 2月17日 設立10周年記念ファンドレイジング・パーティー
@神戸ポートピアホテル (P2掲載)
- 2月22日 神戸市民円卓会議・全体会議
- 2月23日 神戸市アドバイザー派遣事業・NPO法人心の集い
第5回訪問:助成申請書の書き方アドバイス等
- 3月19日 はぁ～とふるファンド申請受付締切
- 3月24日 第4回検証ビジョン検討委員会
- 3月29日 KECアドバイザー派遣事業・研究会
- 3月31日 神戸市アドバイザー派遣事業・総括MTG&NPO運営ステップアップ連続講座「チームの思いを生かす会議のポイント」

【会議】

- 1月15日 四役運営会議:検証ビジョン検討委員会、設立10周年記念ファンドレイジング・パーティーについて協議
- 2月10日 理事会:検証ビジョン検討委員会、新年度事業計画について協議
- 3月16日 四役運営会議:新年度事業計画、役員改選等について協議



15年目のひとり言 ～ソメイヨシノ～



今年も昨年同様、桜の季節が長かった。毎日の気温が目まぐるしく変化し、桜の花に雪が降るという珍しい風景を見ることが出来た。桜の花にとってはさぞ迷惑なことだったろう。ところで、ご存知の方も多いと思うが、日本には 600 種類以上の「桜」が存在する。私たちが日頃目にする桜は「ソメイヨシノ」と呼ばれる、江戸時代後期に人の手によって交配され生まれた園芸種である。「ソメイヨシノ」に実はなるが、決して発芽することはない。繁殖する為には挿し木など、人の手を必要とするのである。200年余りの時間と、多くの人たちの努力によって「ソメイヨシノ」は日本を代表する桜となったのである。

急速な高齢化社会を迎えた今、市民活動も次代を担う人材の育成が急務となっている。市民活動も草創期から成長期へと時代は変化しつつある。当然のことながら、それに見合った人材が必要となってくる。「ソメイヨシノ」と同じく人材が勝手に育つことはない。根気強く、やさしさを持って育てなければ満開の花を見ることは出来ないだろう。震災から15年、6千余に及ぶ尊い命の犠牲によって灯された「市民活動の灯」を灯し続けるために。

しみん基金・K O B E 専務理事 瀬戸口仁三郎

会員数とご寄付のご報告

正会員 個人 37名 団体 4名

賛助会員 個人 67名 団体 11名

(2010年3月末現在)

寄付・募金合計金額 1,122,268円

寄付者・募金一覧(敬称略・順不同)

W・S ひょうご、白水士郎、柳田邦男、中谷豊、小島満智子、瀬戸口延恵、ちびくろ保育園、兵庫県遊技業協同組合、こうべ i-ウォーク実行委員会、島田誠、ボランティアスクエア 21 実行委員会、ぼたんの会実行委員会、設立 10 周年記念パーティー参加者等(101名)

(2009年12月～2010年3月)

「しみん基金・K O B E」の運営を支えて下さる賛助会員と寄付を募集しています。

個人会員 年間 3,000円
団体会員 年間 10,000円



お申し込みは電話・FAX・メールなどで、お名前・ご住所・電話番号をお知らせください。

振込口座 三井住友銀行 三宮支店 普通 7965892
みなと銀行 本店営業部 普通 1597921
近畿ろうきん 神戸支店 普通 4161854
郵便振替 00990-5-157334
口座名義 「しみん基金・こうべ」

しみん基金・K O B E ホームページ・リニューアルオープン

情報発信力強化を目的として、2010年2月15日に長年慣れ親しんできた当基金のホームページのデザインを一新しました。当基金の活動内容を分かりやすく整理しなおし、あわせて「事務局ブログ」も開始しましたので、当基金の最新情報はホームページからご確認いただきますようお願い申し上げます。

<http://www.stylebuilt.co.jp/kikin/>